

〔解説〕 特集 / 気候・風土・建築設備の融合—沖縄特集  
沖縄の気候風土と建築設備

石原 修

空気調和・衛生工学 78 (平成 16 年 9 月) pp.749~753

亜熱帯のマリンブルーの海に点在する沖縄の島々。沖縄の夏って本当に暑いのだろうか？気候の特徴はどのようなのだろうか？建築設備でのハード面、ソフト面での特異点はどんなことだろうか？

ここでは、西日本の主要都市と那覇市との気象データを比較することにより、気候の特徴について考えてみる。さらに、設備面でのトラブル事例を見る事によって、本土では経験しないような強風対策や塩害対策について紹介し、設備計画やメンテナンス計画での参考資料としたい。

〔解説〕 特集 / 気候・風土・建築設備の融合—沖縄特集  
沖縄の建築設備の事例(2)

沖縄美ら海水族館の設備概要

喜友名 徹

空気調和・衛生工学 78 (平成 16 年 9 月) pp.771~777

沖縄美ら海水族館は“沖縄の海との出会い”をテーマに、世界一の施設や世界初の試みが随所に盛り込まれている施設であり、機能と快適性を確保しながら、建物と環境との調和により省エネルギーを図っている。具体的には、アマハジと呼ばれる軒を深く設け、暑い日差しや雨などを防ぐ風通しの良い空間の創造。常用発電の廃熱を利用したコージェネレーションシステムの採用。冷房室の余剰空気有効利用。耐塩性の材料を使用し長寿命化を図っている。

〔解説〕 特集 / 気候・風土・建築設備の融合—沖縄特集  
沖縄ゼロエミッションアイランド事業

堤 純一郎

空気調和・衛生工学 78 (平成 16 年 9 月) pp.755~761

沖縄県で行われてきた四つのゼロエミッションという名がつく事業について解説した。一つはゼロエミッション・アイランド沖縄の単なる基本構想で具体的な活動などは含んでいない。次は竹富町をモデルとした小規模離島の生ごみのコンポスト化、次は沖縄県のマテリアルフローの作成と環境ビジネス意識調査、最後に現在進行中の産業廃棄物掘り起こし再資源化事業である。

〔解説〕 特集 / 気候・風土・建築設備の融合—沖縄特集  
沖縄の建築設備の事例(3)

沖縄県立高度・多機能病院(仮称)

村松 宏

空気調和・衛生工学 78 (平成 16 年 9 月) pp.779~785

沖縄県立高度・多機能病院(仮称)は、平成 18 年 1 月の竣工、同年 4 月の開院に向けて、現在施工中の病院施設である。その計画にあたっては、沖縄の気候風土と病院建築の特殊性を十分に考慮している。

本事例報告では、デシカント空調システムなどの特徴ある設備計画を中心に、施設計画の概要を紹介する。

〔解説〕 特集 / 気候・風土・建築設備の融合—沖縄特集  
沖縄の建築設備の事例(1)

糸満市庁舎

塚本宏怡・榎木 学

空気調和・衛生工学 78 (平成 16 年 9 月) pp.763~770

糸満市庁舎では、沖縄の伝統的な家屋の特徴である深いひさし(庇)、風通しのよい間取りや、街中でよくみかける花ブロック(有孔コンクリートブロック)など、亜熱帯性気候の風土で培われた建築的な工夫と各種の省エネルギー技術を融合させた計画を試みた。デザイン上の特徴でもある各方位の外部ルーバーを中心として、日射制御、太陽光発電、自然換気、昼光利用を行っている。また、建設地は島嶼部であるため、蓄熱式熱源設備、雨水利用設備を採用し、インフラ負荷の抑制を図った。自然エネルギー利用・負荷低減、インフラ負荷抑制の取組みは、市庁舎単体のランニングコスト低減とともに、地域環境、ひいては地球環境への配慮につなげることができたと考えている。

〔解説〕 特集 / 気候・風土・建築設備の融合—沖縄特集  
沖縄における住宅の冷房・換気システムの普及

福島駿介

空気調和・衛生工学 78 (平成 16 年 9 月) pp.787~791

沖縄の伝統的木造民家、集落の空間構成や環境的性能についての高い評価は、単に物理的環境にとどまらない。それらは快適な集落内の日常生活にかかわる人と、空間の総合的体系として蓄積された環境技術に裏づけられている。この優れた伝統的集落構成の文脈は戦災により破壊、分断され、戦後新たに鉄筋コンクリート造住宅が沖縄の一般的な住宅構造形式として定着する過程で、さまざまな課題に直面することになる。そのなかで熱環境的な課題は現在にいたるまで最も多くの関心を集めてきた。ここでは関連して開発された多くの先進的な技術的提案が、新たな居住空間における日常的な技術として採用され普及する可能性を期待し、蒸暑地域に位置する沖縄の開放系の熱環境技術の現状を中心に考察する。

〔解説〕 特集 / 気候・風土・建築設備の融合—沖縄特集  
沖縄における建築設備維持の特長

井上 宏・原 省吾

空気調和・衛生工学 78 (平 16 9) pp.793~797

北緯 26 度 12 分，東経 127 度 41 分，太平洋の真っ只なかに浮かぶ島嶼県沖縄である。沖縄は，アジア・モンスーンの猛威を直接受ける。

それら大自然の猛威が，鉄，ガラス，コンクリートを主要な素材とする近代建築物とその設備にいかなる被害をもたらすか。本稿ではその実態について，本土とは明らかに異質な沖縄の状況を紹介する。

〔海外文献紹介〕

コミショニング業務の履行責任に対する防衛

中村 慎・大阪谷 彰 訳

空気調和・衛生工学 78 (平 16 9) pp.813~816

本報文は，毎年米国で Portland Energy Conservation Inc (PECI) が主催して開催されるビルディングコミショニング全米会議 (NCBC) の 2003 年 5 月の第 11 回会議で発表されたものである。筆者の Hawkins 氏はコミショニング責任者として 10 年以上の経験があり，多くの建物のコミショニングを実施している。

本報文では，コミショニングという行為に対して近い将来訴訟が増加することを予測し，どのような行為が契約違反となるかについて具体例を示し，それに対しコミショニング責任者はどのような防衛策を取るべきかを述べている。

〔解説〕 特集 / 気候・風土・建築設備の融合—沖縄特集  
沖縄県における電力の安定供給

石川義行

空気調和・衛生工学 78 (平 16 9) pp.799~803

電気事業の基本的使命は，電気を安定して供給することである。さらに，地域に密着した公益事業として，地域社会の発展に寄与するという使命も担っている。一方で，急速に進みつつある電気事業分野の自由化と，環境問題への取組みとしての環境規制が，電気事業者にとっての大きな課題となってきた。本稿では，沖縄県における電気の供給事情の過去，現在，未来について紹介する。

SHASE-S (スタンダード)

SHASE-S 115-2002

室内換気効率の現場測定法・同解説

目次

目的 / 適用範囲 / 用語 / 規準化居住域濃度 / 対象空間と測定法の適用 / 測定機器および周辺装置 / 定常濃度に規準化居住域濃度の算出法 / 空気齢に基づく規準化居住域濃度の算出法

価格1,596円(税込) 会員価格1,436円(税込) 送料350円

SHASE-M (マニュアル) のご案内

SHASE-M 0005-2002 災害時の水利用 飲める水・使える水

目次

阪神・淡路大震災の被害と対応例 / 災害時の水使用用途の水量と水質 / 災害時の水源 / 給水・排水設備の耐震対策 / 災害時のトイレ対策 / 防災計画の概要  
体 裁 B5判，総頁数172頁  
定 価 2,707円(税込) 会員価格2,436円(税込) 送料350円

ご注文は、下記にご記入のうえFAX(03)363-8266(学会事務局)にてお申し込みください。

会社名	部署名	担当者名
配送先		
TEL	FAX	注文 冊